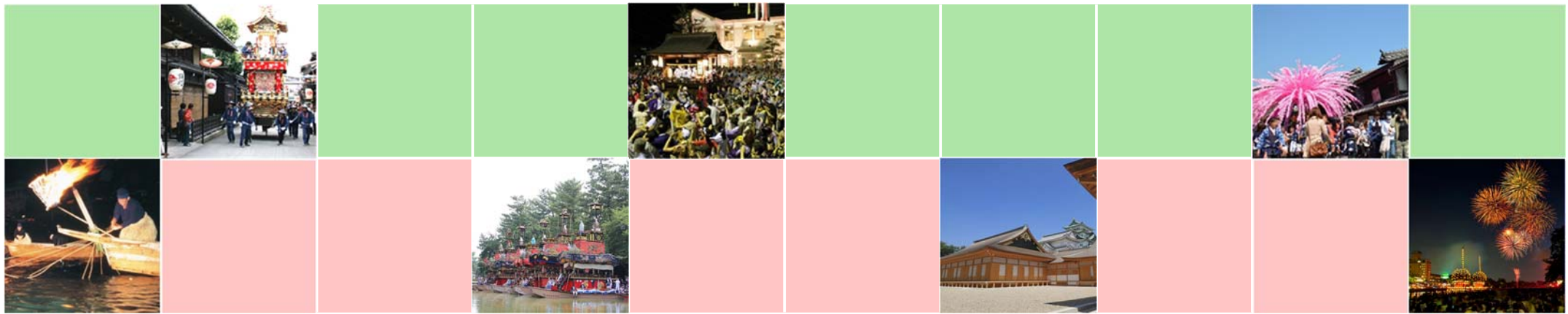
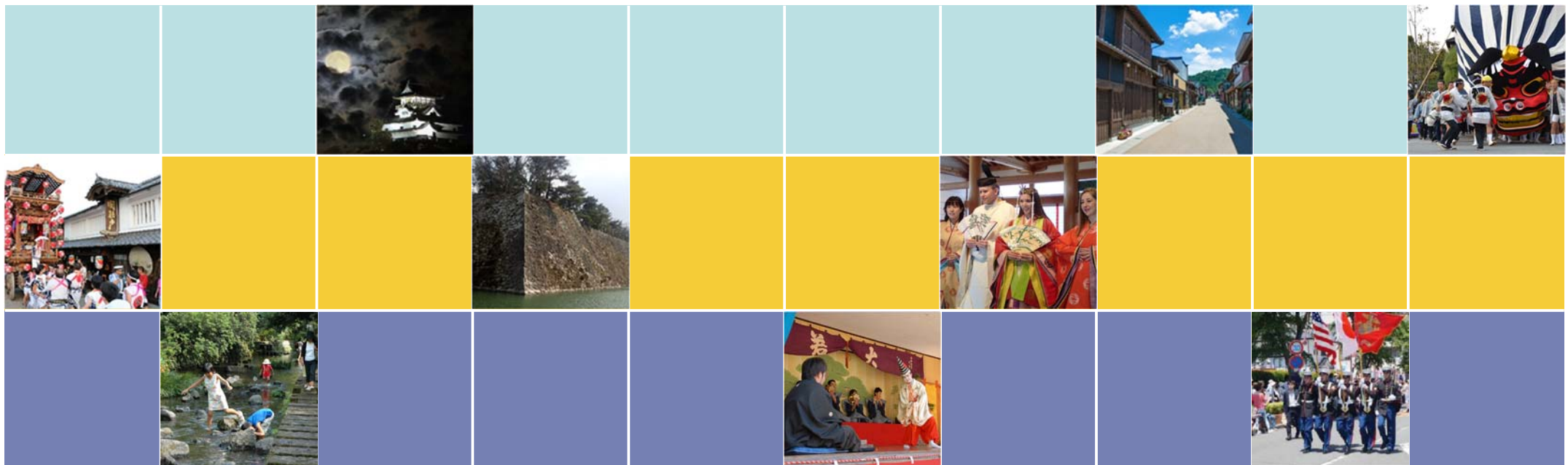




周遊book

Traveling historic town in central Japan



日本まんなか歴まち協議会

高山市 亀山市 犬山市 恵那市 美濃市 明和町 岐阜市 郡上市 名古屋市 伊賀市 岡崎市 三島市 掛川市 伊豆の国市 下田市 津島市 国土交通省中部地方整備局



周遊ルート

Traveling historic town in central Japan

「歴まち周遊book」は中部地方が誇る16の歴まち認定都市をそれぞれ5つのルートで周遊し、その地域のストーリーとともに各都市の魅力を知っていただけるようまとめたガイドブックです。日本の歴史に対して興味があるすべての人に楽しく読んでいただき、実際に訪れてみたいくなるような内容を目指しました。ひとつでも多くの都市を訪れ、それぞれの歴史・伝統・文化を見て、触れて、感じた新たな発見を旅の思い出としてください。

技と営み

Traditional skills and practices

町人の上品上質の活動
「高山祭」、風情ある町並みで場所を変えながら開催される「郡上踊」、1300年の歴史を誇る「美濃和紙」生産。人々の技と営みが受け継がれる、飛騨から美濃の三都に出かけてみませんか。

「本物」に出会う

Meet the genuine

現存する最古の天守様式をもつ「国宝犬山城」、総延長1.7キロの壮大な石垣が今なお残る「岩村城跡」と城下の町並み、数少ない現存城郭御殿を有する「掛川城」。本物ならではの迫力を体感してみませんか。

日本を再発見

Rediscover Japan

日本開国の舞台となった「下田港」、鎌倉幕府樹立への第一歩となった「三嶋大社」、幕末日本の海防政策によって築造された「葦山反射炉」。歴史の転換点、新時代を開いたまちを散策してみませんか。

タイムスリップ

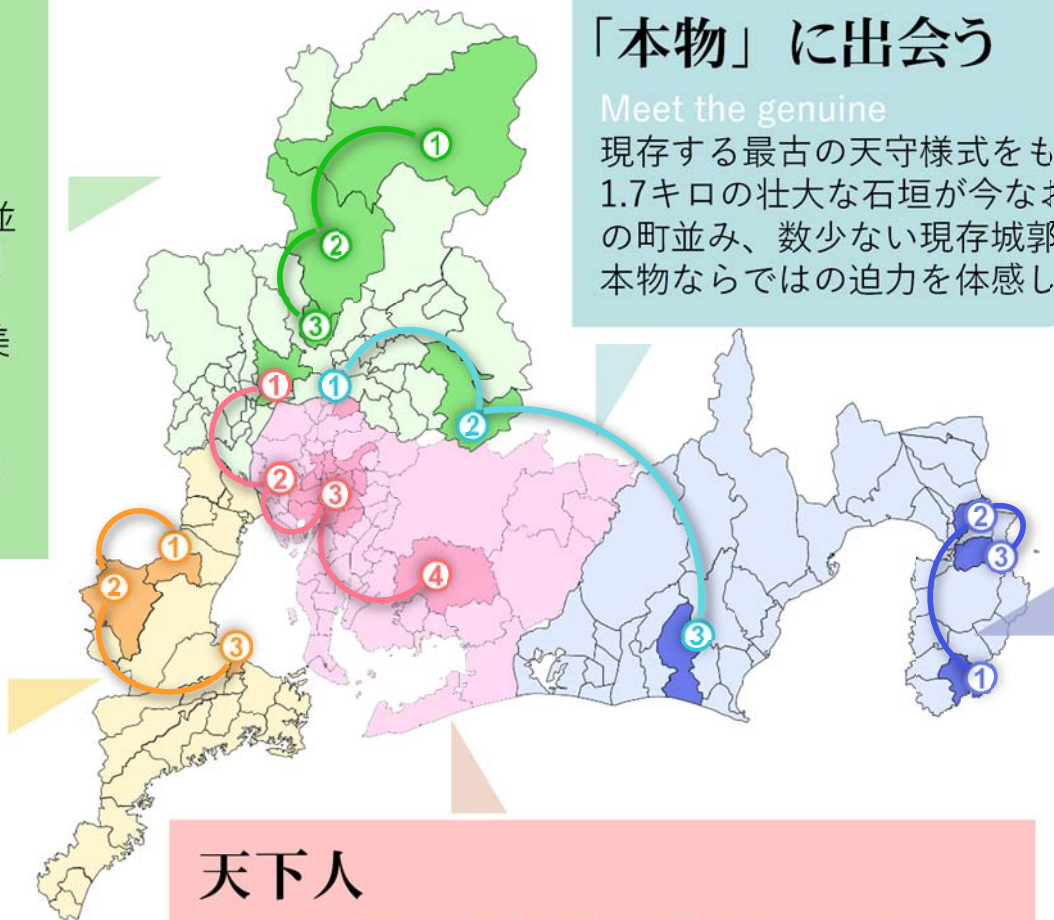
Time travel experience to Japan in antiquity

東海道の宿場町として栄えた「関宿」、歴史が今も息づく「忍者のふるさと伊賀」、斎王の祈りの場「斎宮」。三重が誇る歴史空間にタイムスリップしてみませんか。

天下人

Person who holds the reins of government

天下統一を夢見た織田信長、豪壮華麗な桃山文化を開花させた豊臣秀吉、250年続く天下泰平の世を築いた徳川家康。三人の天下人の躍動の舞台となったまちを歩いてみませんか。



技と営み

P.3

天下人

P.6

「本物」に出会う

P.10

① 高山市



車約70分

バス約80分

② 郡上市

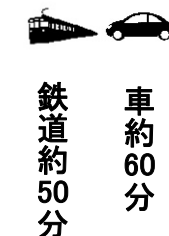


車約40分

鉄道約50分

③ 美濃市

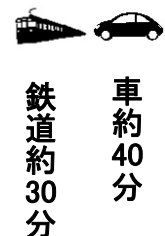
① 岐阜市



車約60分

鉄道約50分

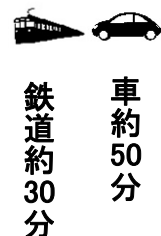
② 津島市



車約40分

鉄道約30分

③ 名古屋市



車約50分

鉄道約30分

④ 岡崎市

① 犬山市



車約70分

鉄道約90分

② 恵那市



車約130分

鉄道約150分

③ 掛川市

タイムスリップ

P.13

日本を再発見

P.16

① 亀山市



車約30分

鉄道約40分

② 伊賀市

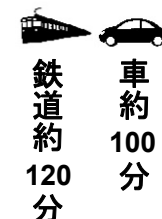


車約70分

鉄道約100分

③ 三重県 明和町

① 下田市



車約100分

鉄道約120分

② 三島市



車約30分

鉄道約20分

③ 伊豆の国市



Takayama 高山

技と営み



旅情ゆたかな商家町

古くからの飛騨の中心地で、江戸時代中期以降は幕府直轄地となり、近世から様々な商いで繁栄しました。狭い通りを挟んで、軒の低い洗練された意匠の町家が連なります。町家は、高さは低く、屋根は緩やかで軒先を大きく出し、胡粉塗の腕木や通り土間上部の梁組みは見ごたえがあります。

吉島家住宅

造り酒屋や生糸など手広く事業を行い、財を成していた商家の豪華な建物が、現在も市内に多く残っています。その商家の中でも圧巻のスケールを誇るのが吉島家住宅です。造り酒屋の面影を残しつつもすみずみまで神経のゆき届いた繊細な造りは美しさがあります。むき出しに組まれた梁と束の隙間から差し込む明かりは光と影の造形美を生み出しています。



日下部家住宅

隣り合う吉島家住宅とは反対に重厚な構造を持つのが日下部家住宅です。ダイナミックで力感の強い豪壮な梁組みと広い土間が表す空間美は、江戸時代そのままの技法を最大に生かした民家建築の集大成とも言える建築物です。



高山陣屋

江戸時代に飛騨が幕府直轄領となつてから、代官や郡代が執務した役所で、全国で唯一現存するものです。陣屋前では、朝市も開かれ、毎日多くの店が並び賑わっています。



TRY!!

国の伝統工芸にも選ばれているイチイ彫刻の技を体験してみよう！



一位一刀彫などの実演・体験

- ▶有料
- ▶予約制
- ▶不定期・通年

飛騨高山まちの体験交流館
TEL: 0577-70-8290

郡上

技と営み

Gujo



水とおどりの城下町

郡上八幡は、江戸時代に

古い町並み

形成された城下町の町割りや用水路、明治から昭和初期に建築された千軒超の町家群、湧水を活かした共同の洗い場など水関連施設が多く残り、清流長良川の支流、吉田川と小駄良川の周囲に形成された市街地では、国指定の「郡上踊」、県指定の「大神楽（目吉、岸剣、八幡の各神社）」などの伝統芸能、郡上本染などの伝統工芸が脈々と受け継がれています。



大正8年の大火から復興した町並みで、城下町の町割りそのままに統一様式を持つ町家が密度高く建ち並び、南北に流れる用水路や軒下の防火バケツなどが特徴的で、一帯は「郡上八幡北町重要伝統的建造物群保存地区」として、建物の保存事業が進められています。



南町を流れる島谷用水の一角には共同の洗い場が設けられており、近年は近隣住民の活動により鯉やアマゴなどが泳ぐ小径となっています。

いがわこみち



名水百選「宗祇水」
県指定史跡の湧水で、古くから生活の水として利用されてきました。「日本名水百選」のひとつに数えられ、水のまち郡上八幡のシンボルとなっています。

TRY!!

城下町の成り立ちと古い町並みの歴史を学んでから、水とおどりの城下町散策に出掛けよう！



城下町を学ぶ

- ▶無料（1F展示室）
- ▶オムツ交換・授乳室完備
- ▶開館時間：9:00~17:00

郡上八幡まちなみ交流館
TEL：0575-65-5188

美濃

Mino

技と営み

うだつの上がる町並み

市内を流れる長良川など清流に育まれた「美濃和紙」は、1,300年の歴史を誇り、伝統的な技法を今も伝えています。

江戸時代のはじめに城下町としてかたちづくられたまちは、この美濃和紙を取り扱う商人のまちとして発展をとげました。今でも美濃市の中心としてにぎわう地であるとともに、築二百年を超えるものをはじめとして伝統的な家屋が建ち並び、「うだつの上がる町並み」として当時の繁栄を今に伝えています。

川湊灯台

江戸時代に物資運送の玄関口として築かれた上有知湊。江戸時代から明治時代までこの地方の物流と交通の中心として栄えた場所を今もなお照らし続けています。



小坂家住宅

相生町にはうだつの上がる町並みの中で最も優美なうだつを構え、江戸時代より造酒業を営んできた旧家「小坂家住宅」があります。構造手法などから築二百余年と推定され、貴重な美濃市の町並みの代表的な建物として国の重要文化財に指定されています。

旧古田行三邸

美濃和紙の手すき職人であった故古田行三氏の住居兼作業場で、当時の紙すきの家の形式を色濃く残しています。



ます。行三氏は生前「本物の美濃紙は本物の建物で漉いてこそ」という考えのもと、長い歴史を有する自宅建物の維持に並々ならぬ精力を注いできました。



TRY!!

1,300年の歴史を感じながら美濃和紙職人になってみよう！



紙漉き体験

- ▶有料（体験料）
- ▶開館時間：9:00~16:00
- ▶休館日：火・祝・年末年始

美濃和紙の里会館
TEL：0575-34-8111

岐阜

天下人ゆかりの

Gifu

信長公のおもてなしが息づくまち

岐阜を天下統一の足掛かりとし、金華山の山頂に城、山麓に居館、山の西側に城下町を築いた織田信長公は、城からの眺めや長良川の鵜飼観覧など、冷徹なイメージを覆すようなおもてなしで、国内外の賓客を魅了しました。町の構造は現代に継承され、「信長公のおもてなしの心」もまた、町並みの中に息づいています。

川湊の風情

川原町は、長良川の水運により運ばれた和紙や材



木などを、日本各地に卸した商家の町家建築が軒を連ね、かつての川湊の風情を感じることが出来ます。伝統工芸品「岐阜うちわ」「岐阜和傘」を製造・販売するお店もあります。

岐阜大仏

岐阜大仏は、日本三大仏の一つに数えられますが、和紙・竹などにより造られた大仏としては日本一の大きさです。静かな大仏殿の中で、柔らかな微笑をたたえる本尊は必見です。

岐阜城からの眺め

尾張平野を一望できる大パノラマは、信長公が、宣教師ルイス・フロイスなどの賓客に見せた景色です。信長公は、フロイスとの別れ際にこう声をかけたとそうです。



TRY!!

漆黒の闇で行われる光・熱・音・水・風
の一大ページェントを堪能しよう！



ぎふ長良川鵜飼

▶期間：5月11日～10月15日

▶有料

▶予約制

岐阜市鵜飼観覧船事務所
TEL：058-262-0104



Tsushima 津島

天下人ゆかりの

信長をも魅了した尾張津島天王祭は、市民や多くの方たちの手によって大切に守り続けられており、毎年多くの観光客で賑わっています。



本町筋の町並み
旧街道の一部で、昔ながらの町家や古井戸が残っています。この道沿いに津島の旧市街地が形成されています。ノスタルジックな雰囲気のある道に思いを馳せてみては。

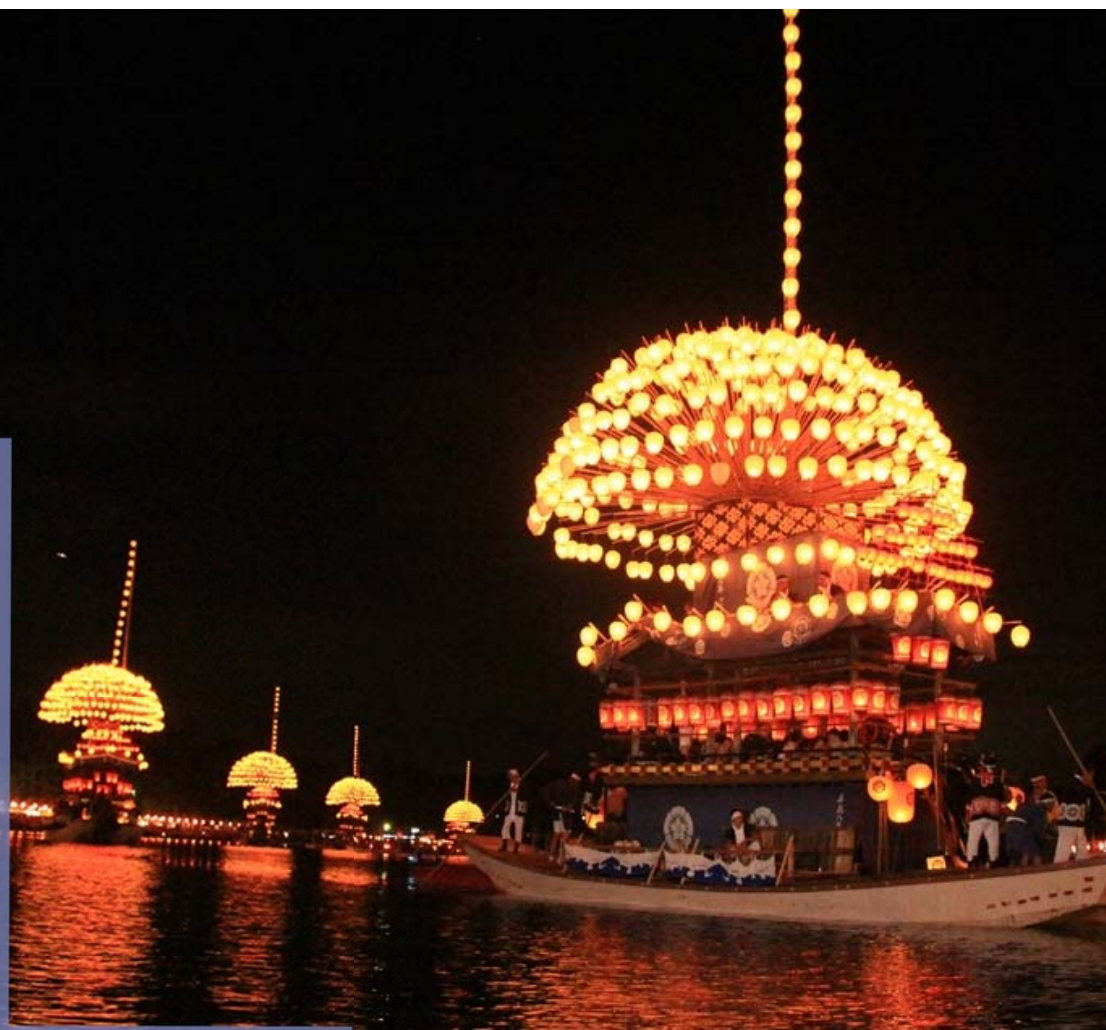
かつて、津島神社の門前町として、尾張と伊勢を結ぶ交通の要衝の湊町として繁栄していた津島は、織田家の経済基盤でした。六百年近く続く「尾張津島天王祭」は津島神社の祭礼で、当時の天王橋から織田信長が観覧したと記録が残されています。また、織田信長が本能寺の変で死去した際は、飾り物をなくした素車で弔意を示したとされているほど、津島は信長と関係が深かったといえます。

信長を支えたまち 尾張津島
信長の産土神

天王信仰の総本社である津島神社は、織田信長や豊臣秀吉などから深く信仰され、多大な寄進を受けました。織田家は津島神社の神紋と同じ紋を家紋にし、信長は津島神社を自らの産土神にしたと伝えられています。



天王川公園の藤
かつて津島市は藤浪の里と言われたほどの藤の名所で、毎年4月下旬から5月上旬にかけて天王川公園に藤の花が咲き誇ります。藤棚の下では野点が行われ、情緒を感じることができます。



TRY!!

大正時代に建築された土蔵棟で自分で点てたお抹茶で一服しよう！



抹茶点て体験

- ▶ 有料
- ▶ 3日前までに要予約
- ▶ 月曜（祝日の場合は翌平日）、年末年始は定休

津島市観光交流センター
TEL：0567-25-2701

天下人ゆかりの

名古屋

Nagoya



有松の町並み
東海道の鳴海宿と池鯉鮒宿の間に開かれた村で、東海道を往来する旅人の土産物として絞り染めが考案され、



名古屋城築城とほぼ同時期に開削された堀川の水運を利用する商人の活動とともに発展したまちです。大火のあと延焼を防ぐため道路を4間に拡張したというのが名前の由来と言われています。現在も白壁の土蔵や伝統的な建物が残る古い町並みとなっています。



以降、有松絞りとともに有松のまちは発展しました。今なお絞商の豪壮な主屋が建ち並び往時の様子を今に伝えています。



戦国時代を終え、世の中が安定した江戸中期、名古屋の城下は活気に満ちあふれ、祭りや技芸、食文化が発達しました。それを今に再現する金シャチ横丁で食べ歩けば、独特の文化を展開してきた尾張名古屋のうまいものを体感できます。

金シャチ横丁

城下に広がる歴史あり

尾張地方は、名古屋城築城までは清須が中心でした。しかし、家康は尾張徳川家の拠点として名古屋の地を選び、築城にあわせて清須からまちぐるみの引越し「清須越」を行います。家康は自身の強い意志の下に、名古屋城と碁盤割の城下町をつくりました。それが現在のまちづくりの原形となっています。

名古屋城天守や本丸御殿をはじめ、堀川沿いに城下町の名残を残す四間道の町並みや、絞りで発展した有松の町並みなど、往時の繁栄した様子を今に伝えます。

TRY!!

有松絞りの魅力を堪能できるまつりで絞り染め体験をしよう！



有松絞りまつり

- ▶絞り染め体験は有料
- ▶毎年6月第1土曜・日曜

提供/名古屋城総事務所

Okazaki

岡崎

天下人ゆかりの

神君生誕の地「岡崎」

徳川家康公が生まれた

岡崎市には、徳川家の先祖である松平氏や家康公が建てた寺社が数多く存在しています。家康公が神として奉られたことにより、岡崎の地は聖地となり、関係寺社は華麗な装いをこらしています。また、家康公の偉業を讃える活動や伝統行事は古くから脈々と受け継がれており、「家康公のふるさと岡崎」の風格ある町並みへとつながっています。

八丁味噌蔵

黒塗りの板張り壁面と漆喰塗の白い土壁のコントラストが特徴の「八丁蔵通り」。岡崎城から八丁（約八七〇m）離れていたことからその名がついたといわれています。ほのかに漂う家康公も愛した郷土の味である味噌の香りに、今も続く伝統的な地場産業の風情を味わうことができます。

大樹寺



文明7年、松平4代親忠によって創建され、以後徳川家とその先祖松平家の菩提寺となり、位牌が安置されているお寺です。かつて、桶狭間の戦いから逃れた

家康公が、自害を試みた際に、住職から「太平の世を目指す」の教えを受け、思いとどまり、天下統一を誓ったという歴史的に大きな役割を果たしたお寺です。

伊賀八幡宮

家康公が大きな合戦の前には必ず参詣したといわれている神社です。岡崎の春の風物詩「家康行列」の出発地で、家康公の戦勝祈願に習って出陣式が行われます。



TRY!!

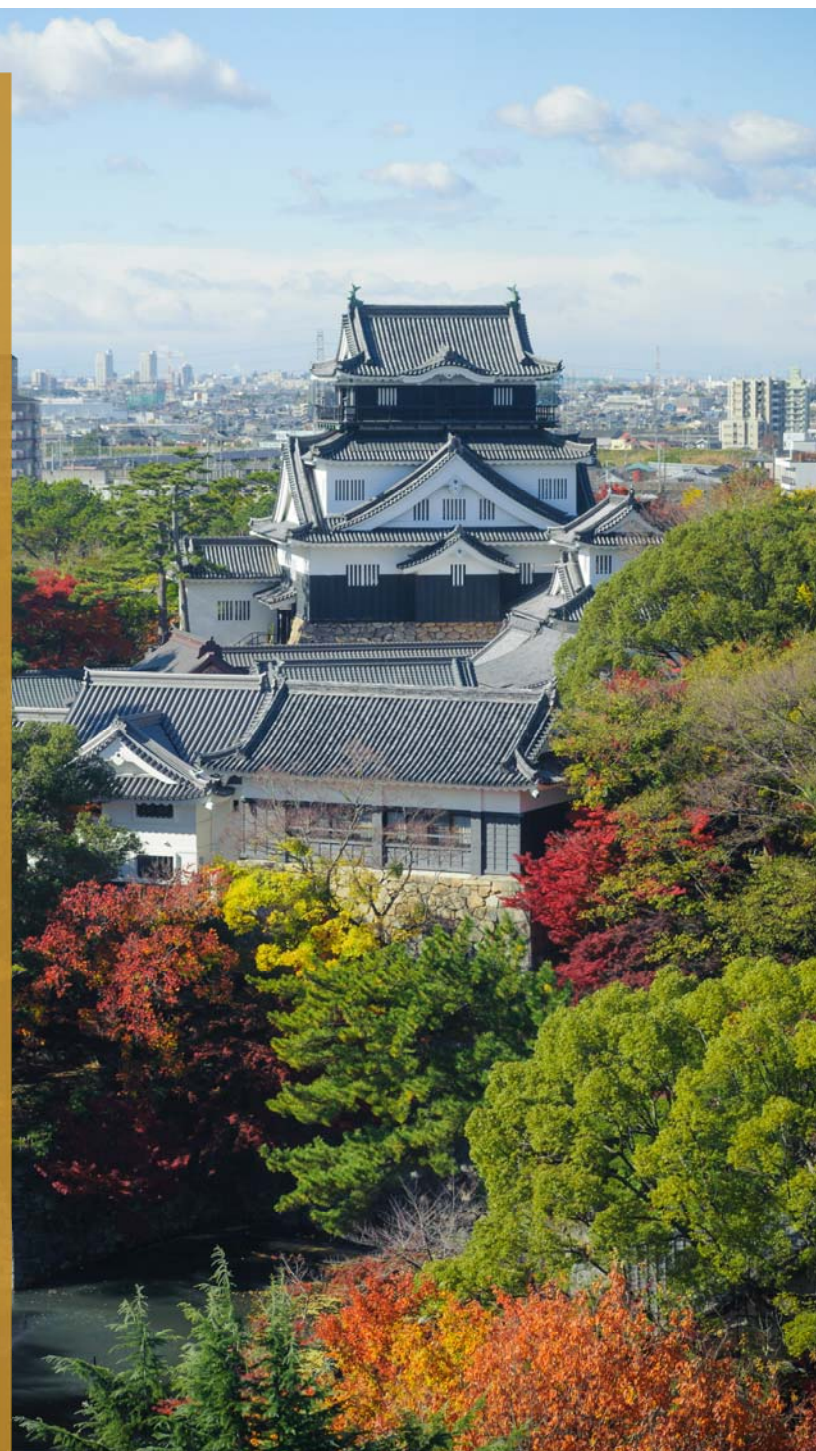
まるで額の中の絵？ 3代将軍家光が設えた岡崎城への眺望を眺めよう！



大樹寺から岡崎城を望む歴史的眺望（ヒスタライン）

▶無料
▶年中

岡崎市まちづくりデザイン課
TEL : 0564-23-6522



本物を求めて犬山へ

木曽川を背にそびえる国宝犬山城。江戸時代の儒者である荻生徂徠はその美しい光景を例え「百帝城」と命名しました。その眼下には昔も今も犬山の中心地としてにぎわう城下町が広がっています。近世の町人や武士たちが行き交ったその場所では、今も残る伝統的な町家や木戸跡、堀跡をはじめ、犬山祭の華やかさなどから当時の人々の暮らしぶりを体感することができます。

江戸と変わらぬ風情

国宝犬山城は、室町時代の天文6年に建てられ、現存する日本最古の天守をもっています。その最上階からは犬山城下の古い町並みと広大な名勝木曽川を眼下に望むことができます。



犬山祭の車山

城下にて毎年春に行われるのが針綱神社の祭礼、犬山祭です。仕掛け見事なからくり人形や提灯を有する華やかな車山が町を巡行する姿は豪華絢爛

です。車山行事は町民の手によって歴史と伝統を反映させながら、三七〇余年にわたって続いています。

からくり人形

車山にも載せられるからくり人形。犬山市文化資料館では、からくり人形の実演や制作公開を定期的にを行っています。日本の伝統と匠の技に触れてみてはいかがでしょうか。



Inuyama

犬山

「本物」に出会う

TRY!!

鶴匠の巧みな手綱さばきと
ウミウの愛らしい姿は一見の価値あり！



木曽川うかい

- ▶有料
- ▶予約制
- ▶期間：6月1日～10月15日

木曽川観光株式会社
TEL：0568-61-2727

恵那

「本物」に出会う

Ena

女城主の里「岩村町」

岩村城跡は日本三大山城として有名ですが、城マニアが感嘆のため息をもらすほどの石垣が、当時の面影を偲ばせています。四百余年の歴史を持つ城下町、岩村町本通りは、エリア毎に古き良き時代の変遷を楽しむことができます。また、自らをかえりみず、領民を守った心優しい「女城主」の伝説があることから、「女城主の里」と呼ばれています。

岩村城跡

岩村城は、戦国時代、織田と武田の境目にあって、両者の間で争奪戦が繰り返され、城主はめまぐるしく入れ替わりました。

また、江戸諸藩の府城の中で最も高い標高七一七mに築かれ、霧が湧きやすい気象から「霧ヶ城」とも呼ばれています。



木村邸

江戸時代中期から末期に栄えた問屋で、岩村藩の財政を支え、藩の発展に大きな貢献を果たした岩村随一の



豪商です。玄関や表武者窓、上段の間、欄間、茶室は、江戸時代の町家としての様子を至る所に留めており、過去の繁栄を偲ばせてくれます。

西町ぶくろい商店街

連続テレビ小説「半分、青い。」の舞台となった商店街で、五平餅やカステラなどが売られています。そのレトロな店構えはいつか見たどこか懐かしい雰囲気を出しています。



TRY!!

約3,500体の雛人形が彩る 城下町のひなまつりに行ってみよう！



岩村城下町ひなまつり

- ▶期間：毎年3月中
- ▶期間中様々なイベント

(一社)恵那市観光協会岩村支部
TEL：0573-43-3231



「本物」に出会う 掛川

Kakegawa



城街道とお茶のまち 掛川

今川・徳川・武田軍による戦国攻防の舞台だった「掛川城」。その後、全国統一を果たした豊臣秀吉により掛川に置かれた山内一豊は、安土桃山文化の流れをくむ掛川城天守を築きました。天守は、安政の大地震により倒壊したものの、四百年の時を超え、日本最初の本造本格復元により再建されました。「掛川城」と東海道五十三次「掛川宿」の趣が残る城下町です。

掛川城天守

掛川城に天守を築いたのは、天正18年に徳川家康が関東に移封したことに



金治郎の総本山
大日本報徳社は報徳運動

手織葛布産業

葛布とは、山野に自生する葛の繊維を織り上げた布です。掛川の葛布は、職人の手織りにより絹や麻にないやさしく落ち着きのある優雅な光沢を兼ね備えています。



の元祖、二宮金次郎の教えを実践する組織の本社として明治36年に建立されました。道徳門、経済門と刻まれている正門は道徳と経済の調和がとれた社会づくりを目指す報徳の教えを象徴しています。

TRY!!

掛川城下を流れる逆川沿いで季節の花々と触れあおう！



川沿いさんぽ

- ▶無料
- ▶掛川桜 3月上旬～中旬
- ▶ユリ 6月上旬～下旬
- ▶逆川

掛川市役所
観光・シティプロモーション課
TEL : 0537-21-1121

亀山

Kameyama

タイムスリップ

旧東海道の宿場町 関宿

関は古代から交通の要衝であり、古代三関の一つ「鈴鹿関」が置かれた場所です。江戸時代には、東海道53次の江戸から数えて47番目の宿場として参勤交代や伊勢参りの人々などのにぎわいました。現在、旧東海道の宿場町のほとんどが旧態を留めない中、江戸時代後期から明治時代にかけて建てられた町家が二百軒余り、今も現存しています。

関宿の旅籠

関宿旅籠玉屋歴史資料館では、江戸時代の貴重な旅籠建築を修復し、旅籠で使われていた道具や歴史資料が展示してあります。関宿の歴史的な町並みとともに皆さんを江戸の宿場の世界へ誘います。



関の山車

横幕や提灯などを豪華に飾り付けて華美を競い合い、笛太鼓を奏でながら、街道を巡行しました。



台車の上部が回転する「舞台回し」という構造

になっています。関の山車会館では夏まつりに使用される山車が展示されています。



旧亀山城多聞櫓

亀山城は、天正18年岡本良勝が城主となり築かれた城です。中でも多聞櫓は県下で唯一現存する城郭建築物です。歌川広重の浮世絵をはじめ、シーボルト等の紀行文にも亀山城の美しい姿が表現されています。



TRY!!

大人から子どもまで楽しめる
キャンドルづくりにチャレンジ!



キャンドル作り体験

▶有料
▶平日は予約制 関宿体験工房彩花里
TEL : 090-7307-0318

<http://akari.mystrikingly.com/>

伊賀

タイムスリップ

Iga



城下町の歴史的建造物

藤堂氏によって上野城跡

を中心に計画的な町割りを持つ城下町が形成されました。上野城には城代が置かれ伊賀を統治し、城下町は、大和街道や伊賀街道といった街道を介して宿場町とつながり、商業が栄えました。明治以降も上野は、行政や経済の中心地として繁栄し、江戸期から近現代を象徴する建造物が各所に残されています。

旧崇広堂

江戸時代、伊賀・大和・山城の領地に武士の子どもたちを教育するために建てられた学校。赤門の愛称で親しまれています。

嘉永7年の大震災で被害を受けたものの、いち早く復興し、講堂や有恒寮、門などは今も当時の藩校の様子を伝えています。



俳聖殿

俳句を芸術として確立させた俳聖 松尾芭蕉。その生誕三百年を記念して、昭和17年に建てられたもので、その形は芭蕉の旅姿を表現しています。殿内には伊賀焼の芭蕉座像が安置され、年に一度の芭蕉祭で公開されます。



旧小田小学校本館

明治14年に建てられたもので、現存する小学校校舎としては県内最古の歴史を誇ります。玄関入口の上部には、竜の彫刻がはめこまれており、創建当時のギヤマンの色ガラスも数枚残っています。



TRY!!

伊賀流忍者博物館で、忍者を学び、忍者衣装を身につけ城下を歩いてみよう！



忍者衣装体験

▶有料

一般社団法人 伊賀上野観光協会
TEL : 0595-26-7788

Meiwa 明和

タイムスリップ



令和に蘇る平安絵巻

天皇に代わり伊勢神宮の天照大神に仕えた未婚の皇族女性、斎王。制度が続いた飛鳥時代から南北朝時代までの間、都から伊勢へ旅立った斎王は、六十人あまりいたとされています。伊勢に來た斎王たちが日常を過ごしたのが、斎王のみやこ斎宮です。

竹の都とも評された美しい都は、土の中に埋もれてしまいました。斎宮では今も発掘調査によってその解明が進められています。復元された「さいくう平安の杜」では、その蘇った姿を見ることができます。

斎宮歴史博物館

国指定史跡斎宮跡の一角に建つ全国でも数少ない遺跡博物館です。伊勢神宮に仕えた皇女・斎王とその居所



斎宮をめぐる歴史や文学、斎宮跡の発掘調査の成果が資料や模型、映像で紹介されています。

斎王べんとう

平安の食文化を再現したお弁当です。伊勢湾で捕れた季節の魚や地元の新鮮な野菜などこだわりの食材を使用しています。



季節の花

広大な斎宮跡に広がる花園では、菜の花やヒマワリ、ノハナシヨウブ、あじさい、コスモスなど季節の花々が楽しめます。



TRY!!

寝殿造の建物で本格的な十二単を着て平安貴族の気分を味わおう！



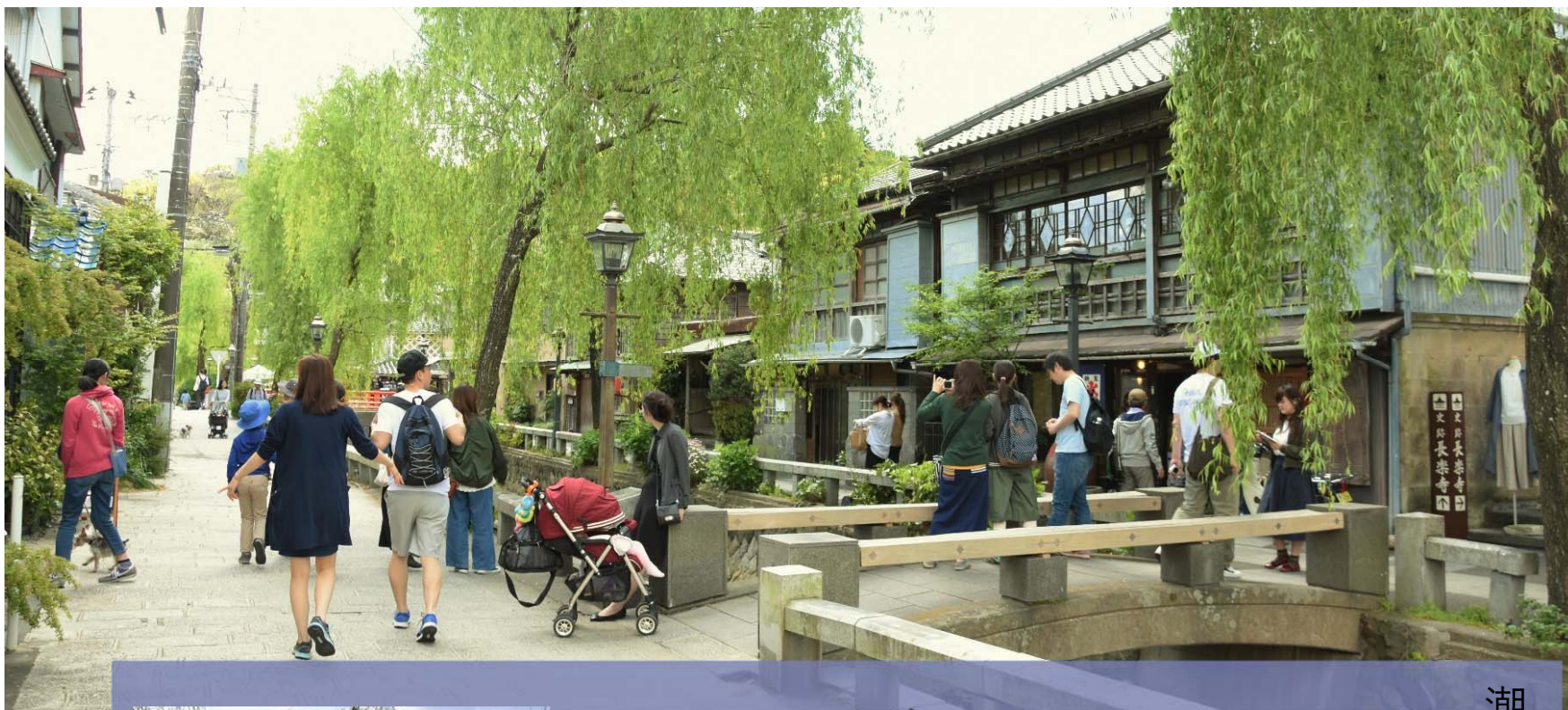
平安装束の試着体験

- ▶月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始は定休
- ▶有料
- ▶予約制

いつきのみや歴史体験館
TEL: 0596-52-3890

Shimoda 下田

日本を再発見



TRY!!

下田の魅力をたくさん知っているガイドさんと一緒にまちを歩こう！



下田観光まち歩きガイド

- ▶ 3コース
 - ▶ 完全予約制
 - ▶ 年中実施
- 下田市観光協会
TEL: 0558-22-1531

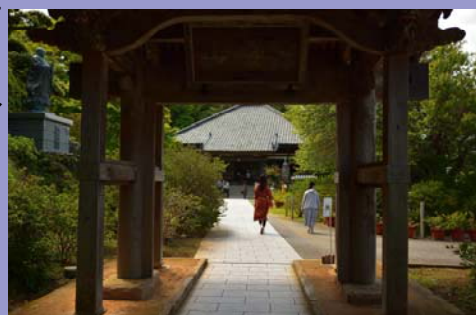


ペリーロード
幕末、黒船により来航したペリー提督一行が了仙寺へ向けて行進した道です。平滑川に沿って続く石畳の道には伊豆石やなまこ壁の家並み、柳並木が独特の風情を醸し出しています。



豊臣秀吉の小田原征伐の際、北条氏の海上における最終防衛とされた下田城址が現在の下田公園です。展望台からは紫陽花の向こうに広がる雄大な太平洋とレトロな市街地を眺めることができます。

下田公園



潮風薫るレトロな湊町

下田周辺は、古くから風待ち港として多くの船が寄港し、漁業や商業で発展してきました。伊豆石の切出しと各地への輸送は、江戸末期から近代にかけての主要産業のひとつで、伊豆石で造られた建物は今も見ることができます。

了仙寺

ペリー提督をはじめとする米国使節の接待所兼徳川幕府との交渉場所となり、日米和親条約付録下田条約が締結された場です。敷地内には黒船ミュージアムがあり、黒船・開国の実物資料を見ることができます。



#三嶋大祭り

せせらぎと祭りと歴史が薫るまち

富士・箱根・伊豆の玄関口に位置し、源頼朝ゆかりの伊豆国一宮である三嶋大社の門前町や東海道の宿場町として賑わいをみせてきたまちです。まちなかには、富士山からの湧水がせせらぎ、皇室ゆかりの楽寿園を中心に緑が溢れ、夏には三嶋大祭りのしゃぎりの音が響き渡ります。箱根旧街道まで足を延ばすと、中世の山城である山中城跡や往時の旅人の足跡が感じられる石畳を散策することができます。当時の文化や風情を味わうことができます。

三嶋大社

古くから伊豆国一宮として栄え、源頼朝が源氏再興を祈願したことも知られています。春になると境内にある十五種二百本の桜が次々と咲き誇ります。



楽寿園

小松宮彰仁親王の別邸として造営された「楽寿館」の目前に広がる日本庭園。三嶋駅のすぐ南に位置し、市立公園として国の天然記念物および名勝に指定されています。溶岩の隙間を流れて



きた富士山の雪解け水の湧出や三嶋溶岩流の末端の地形を体感できるジオサイトとしても認定されています。

山中城跡

戦国時代に小田原城を守る城として、北条氏康により築城された山城。「障子堀」と呼ばれる特徴的な堀はまるでワッフルのよう。史跡公園では季節の花々が楽しめます。



日本を再発見

三嶋

Mishima

TRY!!

まちなかを流れる富士山の湧水を肌で感じながら、水辺を歩いてみよう！



せせらぎ散歩

▶一年中

●源兵衛川

三島市商工観光課
TEL : 055-983-2655

nokuni 伊豆の国

日本を再発見

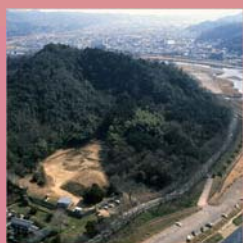
源頼朝の旗揚げや北条早雲の堀越御所襲撃など、日本中世史の転換となる出来事がこの地で起こりました。また、江戸時代の鎖国末期、江川英龍は幕府に海防政策を建議し、品川台場の建造や、葦山反射炉の築造などに尽力しました。英龍の功績の一つである葦山反射炉は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産として、世界遺産に登録されました。葦山反射炉をはじめ、市内の歴史遺産は、歴史の息吹とともに、市民が守り伝えています。

世界遺産を守り伝えるまち

源頼朝の旗揚げや北条

江川邸

幕末の万能人と謂われた江川英龍の居宅。主屋と書院・東蔵・鎮守社・門などからなり、特に主屋は築四百年以上と推定されています。他にも敷地内には、江川家が祀られている社が複数存在しています。



北条の里
史跡北条氏邸跡は鎌倉幕府の執権北条氏ゆかりの地です。初代將軍頼朝の義弟である北条義時は第2代執権であり、二〇二二年大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の主人公として放送されることが決定しています。



2つの世界遺産

葦山反射炉の向かいにある茶畑の展望台からは、富士山と葦山反射炉、二つの世界遺産を一度に眺めることができます。

TRY!!

ガイドさんの説明を聞いて葦山反射炉の歴史的価値を知ろう!



葦山反射炉ガイド

- ▶無料
- ▶完全予約制
- ▶所要時間20分

伊豆の国市 文化財課
TEL: 055-948-1428

歴まち周遊book Webサイト

歴まち周遊bookのデータ版がダウンロードできます。
配布場所の情報についても掲載しています。



歴史まちづくりカード（歴まちカード）



歴まち認定都市の象徴的な風景写真や歴史まちづくり情報を紹介するカード型パンフレットであり、歴史まちづくりに取り組む都市の魅力を発信するため、中部地方整備局と認定都市が連携し、平成29年10月に全国で初めて発行しました。現在では、関東甲信地方や近畿地方、九州地方でも発行しています。

中部地方の歴まちカード配布情報はこちら
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kensei/rekimachicard/>



中部歴まちオンライン情報

中部地方整備局webサイト

歴史まちづくり法の概要や歴史まちづくり認定都市の取り組み等について掲載しているほか、各都市の観光情報も掲載しています。



日本まんなか歴まち協議会 公式Instagram
@cbrekimachi_official



日本まんなか歴まち協議会 公式Facebook



Instagram



Facebook

歴史まちづくりに取り組む都市の魅力やイベント情報などを写真等で紹介しています。